



吉川小だより 9月号

京都府亀岡市立吉川小学校 令和6年8月29日発行

〒621-0014 亀岡市吉川町穴川平田17番地 TEL 0771-22-1210

E-Mail el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp



運動会 心と体の成長を!

40日間の夏休みがようやく…、あっという間に…終わりました。感じ方は、子どもと大人ではずいぶん違うと思いますが、今年も猛暑日が続く年になりました。皆様いかがお過ごしでしたか。休み中、大きな事故やけがもなく元気に2学期が迎えられたことを本当にうれしく思います。夏休みに体験したことや発見したことを友達や先生とたくさん話してほしいと思います。

さて、甲子園では京都国際高校が京都代表として68年ぶりに優勝という快挙を成し遂げました。7月の京都予選から熱い戦いが始まり、まさしく熱闘甲子園となりました。今年も高校生の全力プレーや全力応援から多くの感動をもらいました。また、オリンピックでは日本選手の素晴らしい活躍がありました。なかでもフェンシングの飯村一樹選手、男子バレーの高橋 蘭選手はともに京都市右京区出身と同郷の私はますます応援に力が入りました。そして接戦の上、勝利を勝ち取ったときは、自分も戦ったような気持ちになり喜びが込み上げてきます。

私たちは自分と関わりのある選手やよく知っている国を自然と応援します。自分とどれだけつながりがあるかを無意識のうちに判断し応援しているのでしょう。そう思うと様々な地域や国の人と関われば関わるほどつながりが増え愛着が生まれ、どちらを応援したらいいかわからなくなります。すると、その競技のルールや戦術の面白さ、また、選手についてもっと知りたくなります。つまるところ、どちらが勝ってもよくなるのです。勝ち負けよりもプレーの素晴らしさやその人の努力や人がらなどに魅了されるのです。それはスポーツの究極の楽しみ方ではとふと考えていました。

いよいよ今年も運動会の季節がやってき

ました。まさしく吉川っ子全員が大切な大切な子ども達。全員と関わりがあり、強いつながりがあります。すなわち、どちらが勝ってもうれしいし勝ち負けはあまり問題ではありません。一人一人が本番までにどれだけ全力で取り組み、友達と工夫し競い合って汗してがんばる時間が大切なのです。集団で一つの行事を成功させることで一人一人の心と体を育てるのが大きな目標です。それでも、当日までのがんばりが本番の思いがけないドラマを生み出します。今からもう楽しみでなりません。

保護者、地域の皆様、今年もぜひ子ども達により大きな声援をお願いします。

校長 藤田 哲也

「夏の自由プール」

保護者の皆様、暑い中お世話になりました。

今年も予定通り6日間開催することができました。子どもの満面の笑みを見るととてもうれしくなります。様子を見に行くと「先生、ここまで泳げるようになったし、見ててや」「もう一回、もう一回」と何度も子どもができればえを披露します。「ずっと練習してるんやなあ」とまたうれしくなります。

コロナの影響と併せてタブレット・スマホの時間が増えたことで、子どもの体力の低下が全国的に大きな問題になっています。そして、多くの学校でプールやラジオ体操の実施が見送られる中、本校は、保護者の皆様のおかげでなんとか続けられています。子どもの成長に大切なこと、そして楽しいことは可能な限り続けられたらなとつくづく思います。暑い中、本当にお疲れ様でした。

